

2024年度 北海道大学大学院
文学院修士課程入学試験（後期）

試験区分	☒ 一般入試 ☒ 外国人留学生特別入試 ☐ 社会人特別入試（後期のみ）
試験科目名	専門試験（ 日本史学 ）
出題の意図	本研究科修士課程において日本史学を専修する際に必要である、日本史学に関する知識ならびに史料読解力を問う出題とした。「問題Ⅰ」は、日本史を貫く重要なテーマに関する知識と見解とを論述形式で解答させるもので、受験者の問題関心および論理構成力を見る設問である。「問題Ⅱ」は、前近代もしくは近現代に関する問題のうちいずれかを選択して解答させるもので、受験者の専攻する時代における史料読解能力を見る、または知識を問う設問である。

2024年度
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（後期）
（専門試験） 日本史学 全6枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 6枚、解答用紙 2枚を配付する。

【問題の構成】

- ① 全2問。問題Ⅰと問題Ⅱとから成る。
- ② 問題Ⅰは共通問題である。受験者は、全員、この問題に答えなさい。
- ③ 問題Ⅱは選択問題であり、AとBとから構成される。大学院入学後に古代・中世・近世を専攻する受験者はAを、近代・現代を専攻する受験者はBを選択し、問題に答えなさい。

【解答用紙の使用方法】

解答は、問題Ⅰと問題Ⅱとについて、それぞれ別々の解答用紙に記入すること。

.....

問題Ⅰ

歴史上の災害については、歴史学だけでなく自然科学系の専門家によって研究が行われることもある。「災害史」が政治史、経済史などのように、日本史の一分野として成り立つか否かについて、下記の①②にも言及しながら自分の考えを論じなさい。

- ① 自然科学系の研究とは違う歴史研究として成り立つための条件
- ② 日本史のなかの一分野として成り立つための条件

問題Ⅱ **A** 史料A・Bを読んで、設問(問一〜九)に答えなさい。なお、史料は表記を改めた箇所がある。

【史料A】

太政官符

(a) ~~応以辛未年籍為庚午年籍事~~

右、得(b) ~~常陸国解備~~、(c) ~~依令近江大津宮庚午年~~ (注1) 籍不除、而今無有其籍、仍去弘仁二年 (注2) 具状言上、即依太政官同年七月四日符、就民部省令写之、而依(d) ~~無庚午籍~~、僅写辛未籍、午未兩年、歲次相比、定知庚午始作、辛未終成、名実之違、⑦職此之由也、⑧望讀、依件為定者、大納言正三位兼(e) ~~行左近衛大將陸奥出羽按察使藤原朝臣冬嗣宣~~、依讀、
弘仁十一年五月四日

(『類聚三代格』)

(注1) 近江大津宮庚午年 …… 西暦六七〇年。

(注2) 弘仁二年 …… 西暦八一年。

問一 (一) 傍線部(a)を古文書学では何とよぶか、答えなさい。

(二) 傍線部(a)をひらがなで読み下しなさい(現代仮名遣いでよい)。

(三) 傍線部(a)の「辛未年」とはいつのことか。西暦で答えなさい。

問二 傍線部(b)を引用した部分はどこか。始めの四字と、終わりの四字を、それぞれ答えなさい。

問三 傍線部(c)について、

(一) 「令」には、庚午年籍についてどのような規則があったのか。史料から読み取り、答えなさい。

(二) (一)の規則を定めた目的は何か、簡潔に説明しなさい。

問四 傍線部(d)について、

(一) どこにあるはずの「庚午籍」が「無」だったのか、史料から抜き出して答えなさい。

(二) なぜ、「庚午籍」は「無」だったのか。史料から読み取り、わかりやすく説明しなさい。

問五 傍線部(e)はどのようなことを表しているか、具体的に説明しなさい。

問六 波線部⑦・⑧の読みを、それぞれ答えなさい(現代仮名遣いでよい)。

【史料B】

按、後醍醐帝延元元年（注3）遷幸 、自是有南朝南帝之称、然後醍醐無讓位之儀、^(f)光
明帝為尊氏被立、則終後醍醐之世、乃帝統之正、可在 、至後村上、則^(g)不可無都鄙之
辨、況北朝帝運、伝至今日哉、故至此、^(h)以~~北朝為正~~、附南朝於其間、

（『統本朝通鑑』）

（注3）延元元年 …… 西暦二三三六年。

問七 傍線部^(f)・傍線部^(g)を、漢字仮名交じり文に書き下しなさい。なお、助詞・助動詞にあたる漢字は、ひらがなで記すこと。

問八 空欄 に当てはまる地名を答えなさい。

問九 （一）傍線部^(h)の立場をとる根拠が、史料Bには二点示されている。それぞれ、わかりやすく述べなさい。

（二）史料Bとは反対に、南朝を正統として叙述されていることで知られる、徳川光圀によって編纂が始められた歴史書を何というか、答えなさい。

問題Ⅱ **B** 次の【史料】と【文章】を読んで、設問(問一～八)に答えなさい。なお、出題の都合上、一部、原文の表記を改め、省略したところがある。

【史料】

当時韓国ヲ日本ニ合併スルト云フ議論ハ世上ニ相当唱ヘラレタケレドモ、未ダ其ノ意味ガ能ク了解サレテ居ナカツタ。(略)

「合併」ト云フ文字ハ適切デナイ。サリトテ「併呑」デハ如何ニモ侵略的デ是亦用ヒラレス。

①種々苦心シタ結果、私ハ今迄使用サレタコトノナイ「併合」ト云フ文字ヲ新タニ案出シタ。是ナラバ他領土ヲ帝国領土ノ一部トスルト云フ意味ガ「合併」ヨリモ強イ。(略)

既ニ我ガ政府ニ於テ②韓国併合ノ大方針ヲ確定シタルコト右ノ如クデアルガ、其ノ断行ノ時期ニ就テハ未ダ決定シテキナカツタ。其理由トシテ茲ニ欧米各国トノ条約改正問題ニ付一言スル必要ガアル。言フ迄モナク③幕府時代ニ締結シタル各国トノ旧条約ニ依リ我カ国ハ法權、税權共ニ非常ニ束縛ヲ受ケ、独立国トシテノ權利ノ行使ニ多大ノ制限ヲ蒙リ各国ト甚シキ不對等ノ地位ニ在ツタノデ、此ノ束縛ヲ脱シテ速ニ完全ナル独立国ノ実ヲ獲ムトスルノガ我ガ国民ノ熱心ナル希望デアリ、此ノ目的達成ノ為ニ上下共ニ凡ユル努力ヲ払ツテ各般ノ改革ヲ実行シ、即チ宮廷関係ノ改新ヲ初メトシ法律制度ノ改正、風俗習慣ノ変革等ニ至ルマデ事ノ条約改正遂行ノ目的達成ニ関連スルモノ甚タ多カツタカ如キ次第デアル。(略)当時ノ桂内閣ハ、韓国併合ノコトモ勿論大問題デアルニハ相違ナイガ、ソレガ為維新以来上下共ニ心血ヲ賤イダル税權回収、國權回復ノ大目的ニ妨ゲラ生ズル如キコトガアツテハナラスト考ヘ、④併合ノ断行ハ条約改正ニ支障ヲ来サヌ時期ヲ選バネベナラス。場合ニヨツテハ条約改正実現後マデ之ヲ延期スルモ已ムヲ得ヌト迄考エテ居ツタ人モアツタ位デアル。右様ノ状態デアツタノデ併合断行ノ時期ガ決定セヌノハ無理カラヌコトデアツタ。

(「8. 倉知鉄吉氏述 韓国併合ノ経緯 自昭和十四年十一月」JACAR(アジア歴史資料センター) Ref.B12080958700、諸修史関係雑件／外交資料蒐集関係 第三卷(N-2-1-0-4_1_003)(外務省外交史料館)、一一・一二、一二・二三頁)

問一 傍線部①について、

「併合」という文字が「案出」されたのはなぜか、史料の内容に基づいて簡潔に答えなさい。

問二 傍線部②について、

日露戦争勃発から韓国併合までの間に、日本と韓国との間ではいくつかの条約が締結された。その条約のうち、二つを書き、その内容を簡潔に述べなさい。

問三 傍線部③について、

- (一)「法権」の「束縛」とは具体的に何か、また、そこには列強のどのような目的があったか、簡潔に説明しなさい。
- (二)「税権」の「束縛」とは具体的に何か、また、そこには列強のどのような目的があったか、簡潔に説明しなさい。

問四 傍線部④から、日本は条約改正に支障のない時期を待って「韓国併合」を実現しようとしていたことが分かる。ところが、ある事件が発生したことで、もはや韓国を「併合」しても条約改正に支障はないとの判断が下されることとなった。その事件は何か、書きなさい。

【文章】

問題本文は著作権上の理由からこのホームページに掲載することができませんので、左記の出典箇所を参照するか、文学研究院教務担当の窓口で閲覧してください。

（鹿野政直『日本の近代思想』岩波新書、二〇〇二年、三二・三三頁）

問五 傍線部⑤の吉野作造は帝国主義に代わるべきものとしてある思想（主義）を提唱した。

- （一）それは何か、答えなさい。
- （二）その思想の内容を簡潔に書きなさい。

問六 傍線部⑥に、天皇機関説が「デモクラシ－的思潮の政治思想や法思想の軸となった」とある。そう考えられる理由を説明しなさい。

問七 傍線部⑦には、新領土をめぐって憲法を適用するかしないかという選択肢があったことが示されている。その選択によつて政策は大きく変わることになる。どのように変わるか、具体的に説明しなさい。

問八 傍線部⑧の治安維持法は一九二五年に成立した。その法案に明記された二つの処罰対象は何か、書きなさい。